

「働き方」感想文

宇嶋 稟音

今回「働き方」の本を読んで働くという
意味を深く学ぶことができました。前職で働
いた時は、休日に友達と遊びや旅行の計画
を立て、その為にはただいっもと同じ作業して
ただ働いているだけでした。一カ月に一回創意
工夫を考えて改善作業をしていましたが、効
率良くする為には「やっ」といいますが、内心強制
的にやらせられているイヤイヤ「やっ」とい
ました。

「一生懸命働く」「必死に仕事をやる」とい
う人が周りに少なくどこか恥ずかしさや何ぞ
そんな一生懸命に働くのかと思っ「ていました。
しかし、部署移動をして、その部署では一人
一人が一生懸命に働いている姿をみて、自分
も何かができることを地道にやっ「ていこうと思
えるようになりました。環境ってすごい大事
だと思っ「うのと同時に、自分の考え方を一つで
行「動も変えられるんだなと思っ「ました。

私たちは「自らの心」を高めるために、働

く、一生懸命に働くことには、私たちの心を鍛え、人間性を高めてくれる、素晴らしい作用があると思います。私は、一なるほびと、思いました。働かなければ、自分の得意、不得意を知ることもなければ、色々なことを知って学ぶこともできません。一生懸命働かなければ毎日と同じで変化のない日々でつまらない人生を送るまでに前の自分だと思いません。

一生懸命働くだけでなく、一つ一つの行動に何かしら意味があったり今後何かの役立つ事になると信じ、自分がやったことを反省し、やり直そうと心に誓う事だったり、仕事を好きになるなど正しい考え方を大事にする。ことが大切だと学びました。そして、パストレがなく、パロフェクトを目指すことが大切と。お客様に、前回よりも良い製品を紹介するのでなく、現状の肌の状態に合うものを紹介するだけでなく、その仕方を伝えるまでがパロフェクトだと、より

よいものでなく、これ以上ないものも伝えら
ることが大事なんだと思っました。

今、エステティシャンとして働かせてもら
えるようになった。一日一日学ぶことができて
少しずつですが自分の考え方が変わった。とき
行動も変われることができてきました。

しかし、まだまだ足りない事ばかりで、紙
はまだ可燃性タイプなので可燃性タイプにな
れるように日々学び努力して参ります。

そして、今よりも一生懸命働き、幸せな人

生を送れるようにしていきたいと思います。